

2018年3月期 第1四半期 決算補足資料



2017年7月31日（月）

1. 連結損益計算書

BELLUNA

売上高 ～ 前年比10.6%増で予算オーバー
 営業利益 ～ 総合通販が牽引し、予算を上回る
 経常利益 ～ 為替関係損益がプラスとなり前年を大幅に上回って着地

連結	17/3期 1Q	18/3期 1Q		18/3期
	実績	実績	前年比	予算
売上高	371.9	411.5	10.6%	1,600.0
売上原価	161.8	179.6	11.0%	690.0
販売管理費	186.0	203.2	9.2%	780.0
営業利益	24.1	28.7	19.0%	130.0
営業外損益	-37.9	6.7	-	5.0
(内、為替関係損益)	(-41.0)	5.4	-	-
経常損益	-13.8	35.4	-	135.0
四半期純損益	-10.8	31.1	-	88.0

単位：億円

2. セグメント別損益

BELLUNA

売上高 ～すべてのセグメントで増収を達成

営業利益 ～ソリューション事業、その他の事業を除きすべて増益

- ・アパレル店舗の収益性改善と総合通販の好調が牽引
- ・その他の事業は(株)マイム※の季節要因もあり減益

セグメント別売上高と営業利益

単位：億円

	18/3期 1Q								
	総合 通販	専門 通販	店舗 販売	ソリューション	ファイナンス	プロパティ	その他	連結 消去	計
売上高	225.1	106.1	36.4	15.0	8.3	10.1	13.0	-2.5	411.5
前年比 (%)	+10.1%	+7.8%	+19.3%	+1.3%	+11.1%	+33.6%	+18.4%	+11.3%	+10.6%
営業利益	15.4	3.6	1.6	6.5	2.8	0.8	-1.4	-0.6	28.7
前年比(億円)	1.9	0.7	1.9	-0.9	0.8	0.3	-0.4	0.3	4.6
営業利益率	6.9%	3.4%	4.5%	43.1%	33.8%	7.8%	-11.1%	23.9%	7.0%

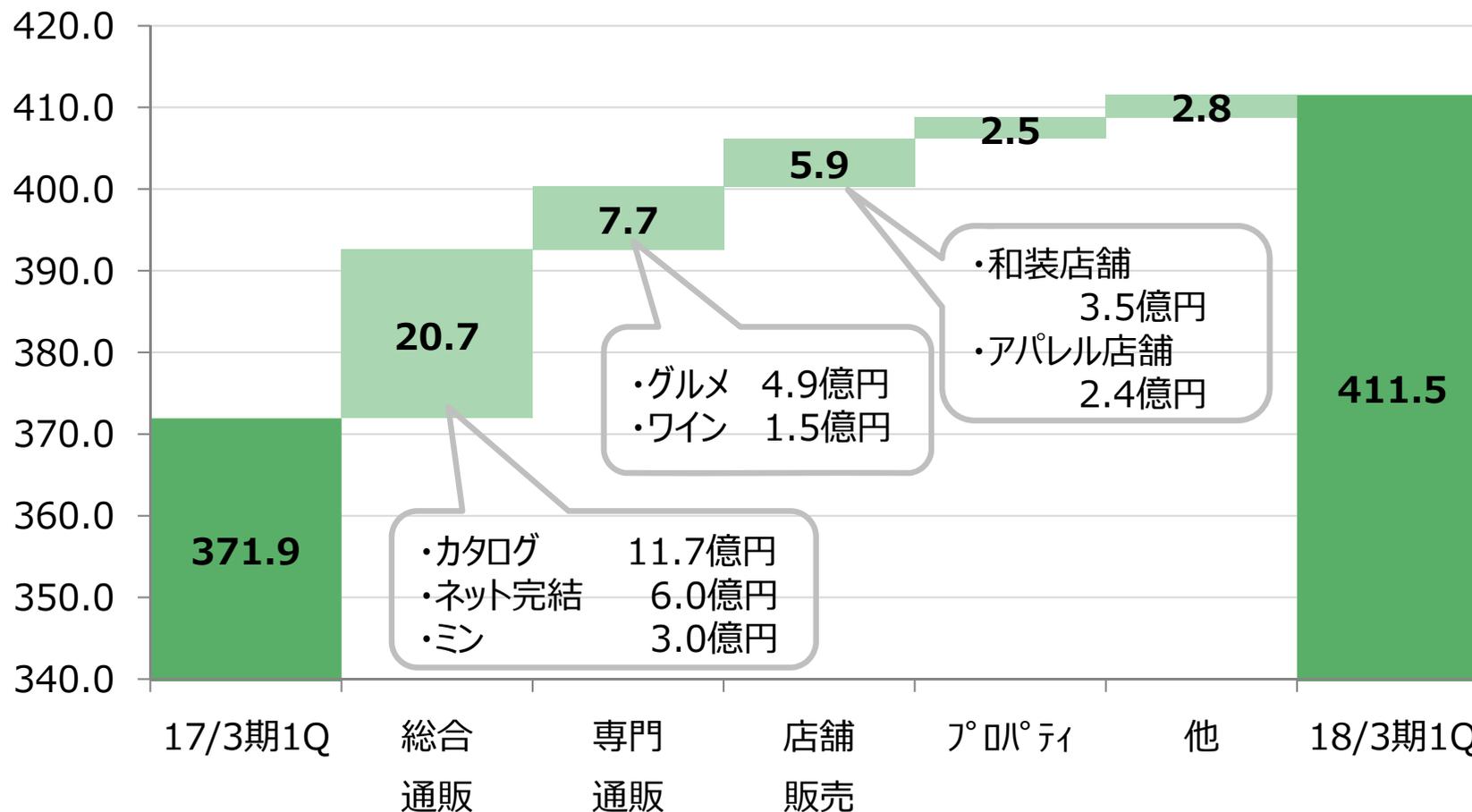
※(株)マイムは今年度より店舗販売からその他セグメントに区分変更

3. 売上の増減分析

総合通販事業がカタログ、ネット完結ともに好調
専門通販はグルメ・ワイン事業が好調で増収を牽引
店舗販売は和装店舗の新規出店等により増収

売上高の増減要因

単位：億円



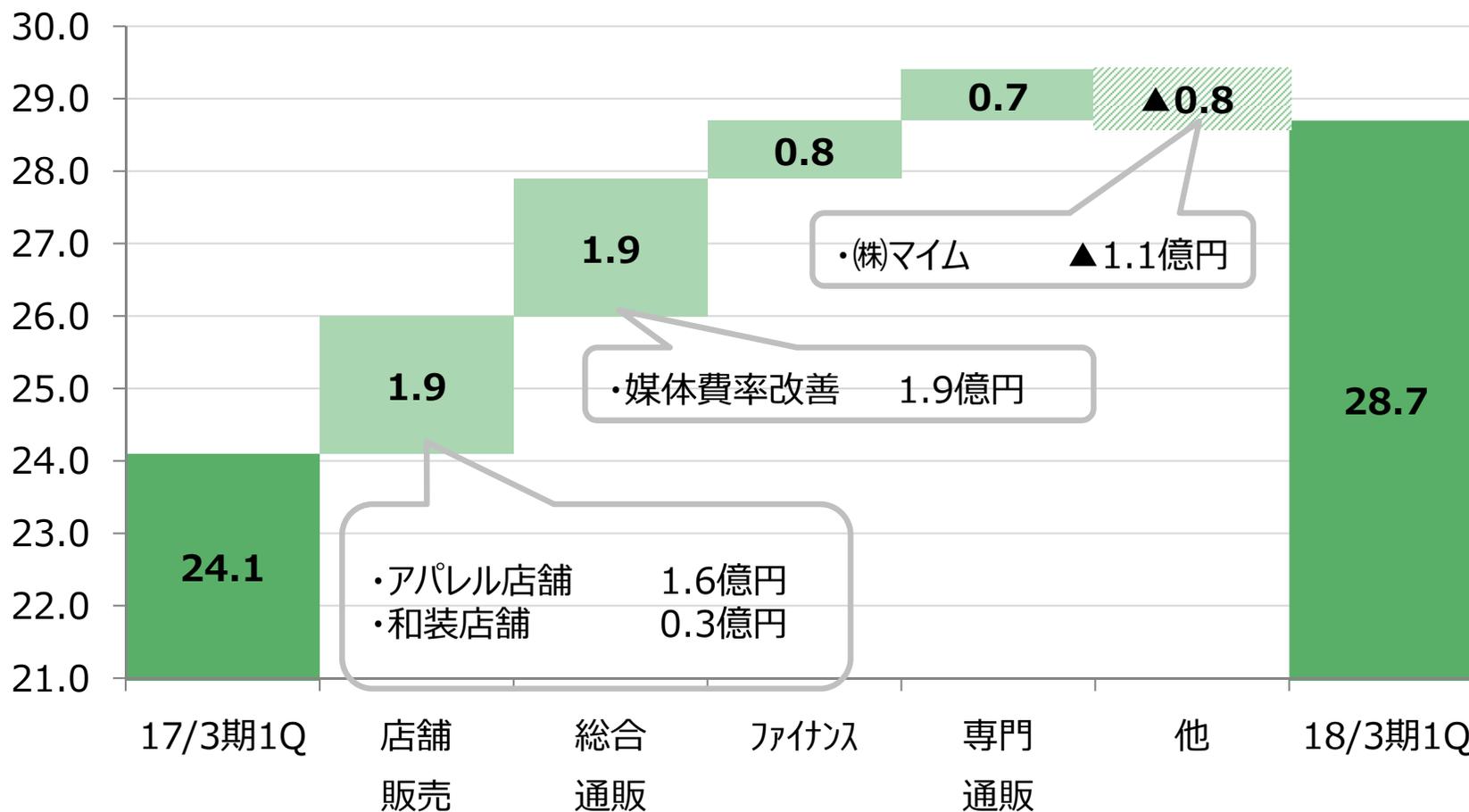
4. 営業利益の増減分析

BELLUNA

店舗販売は主にアパレル店舗の収益性改善により増益。
総合通販は媒体費率改善等もあり引き続き好調。

営業利益の増減要因

単位：億円



5. 連結貸借対照表

BELLUNA

資産では、受取手形及び売掛金、商品及び製品などが増加。これに対し負債では支払手形及び買掛金が増加するも未払法人税等が減少。

	17/3末	17/6末	増減額	単位：億円
流動資産	847.9	875.1	27.1	
受取手形及び売掛金	96.7	111.6	14.9	
商品及び製品	159.7	178.4	18.7	
固定資産	942.3	951.1	8.8	
有形固定資産	642.6	645.3	2.7	
投資有価証券	132.4	140.6	8.2	
総資産	1,790.2	1,826.2	35.9	
負債	912.5	932.9	20.4	
支払手形及び買掛金	177.4	222.4	45.0	
未払法人税等	30.0	11.6	-18.4	
純資産	877.7	893.3	15.6	
利益剰余金	633.6	658.6	25.0	
【自己資本比率】	[47.4%]	[47.8%]	[+0.4P]	

<本資料に関する注意事項>

本資料は、2018年3月期第1四半期決算業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2017年7月31日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

<IRに関するお問い合わせ先>

株式会社ベルーナ 経営企画室 IR担当

〒362-8688 埼玉県上尾市宮本町4-2

TEL : 048-771-7753

FAX : 048-775-6063

E-mail : ir-belluna@belluna.co.jp